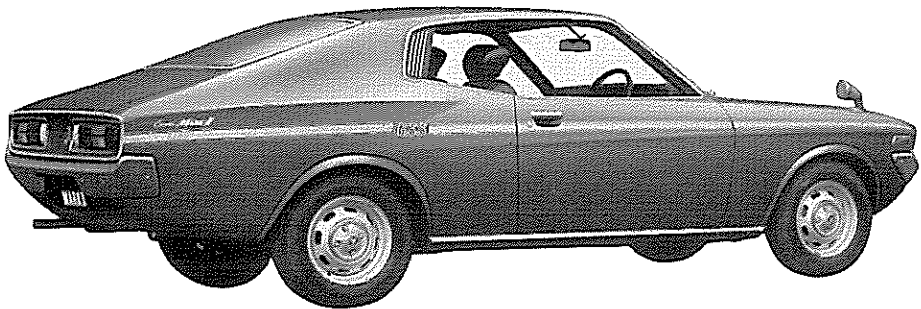


総 説

車両全体写真	0-2
車両4面図	0-3
エンジン性能曲線	0-4
車両走行性能曲線	0-5
記号の意味	0-6
車両仕様	0-7
エンジン仕様	0-7
ボデー仕様	0-8
シャシ仕様	0-9
灯火計器明細表	0-10
潤滑油容量および種類	0-11
作業にあたって	0-11
定期手入れ表	0-12

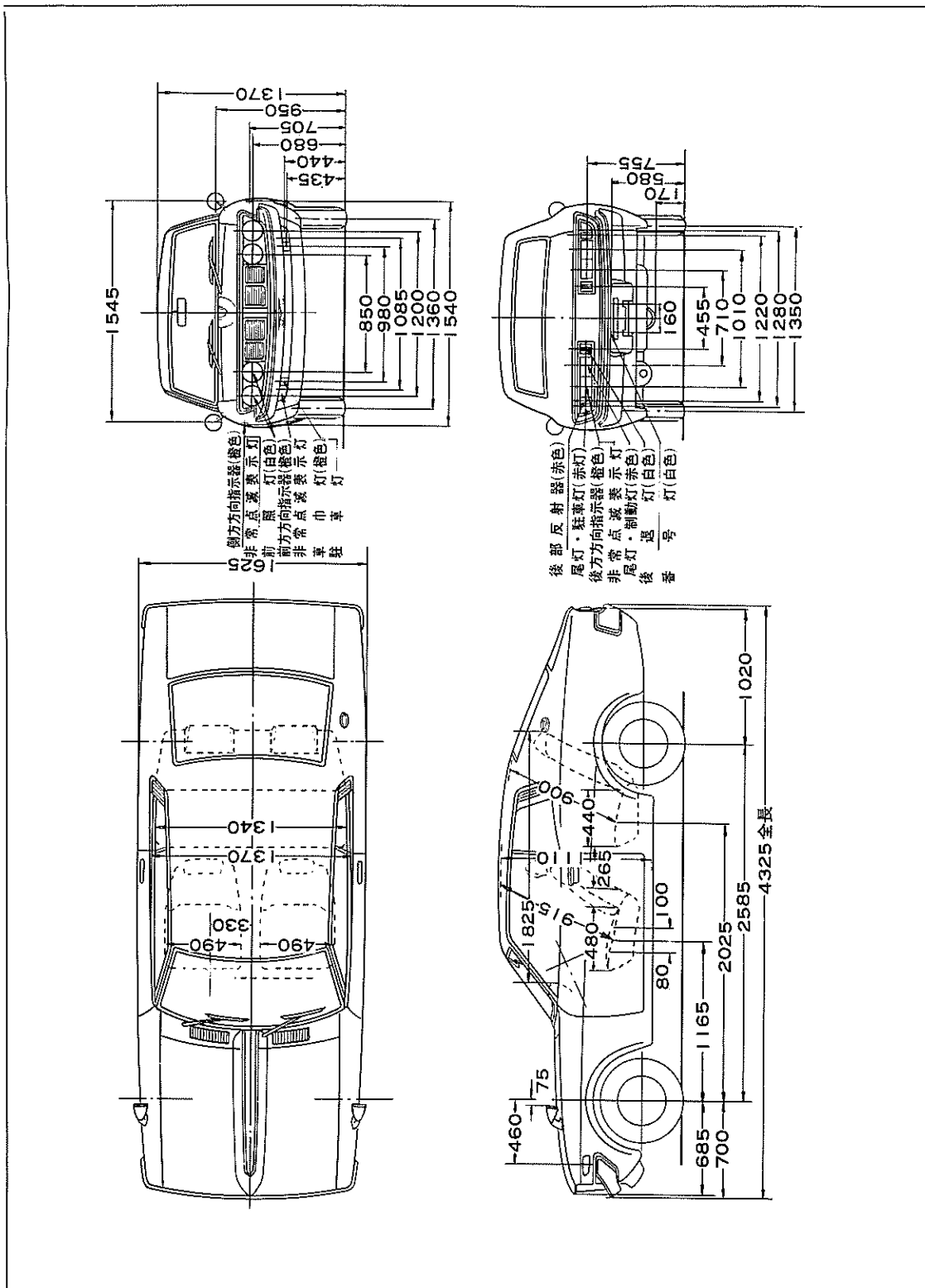
車両全体写真



第0-1図 トヨタマークII コロナ マークII ハードトップGSS (RX22-MQG, -MQGR型車)

V6754 V6755

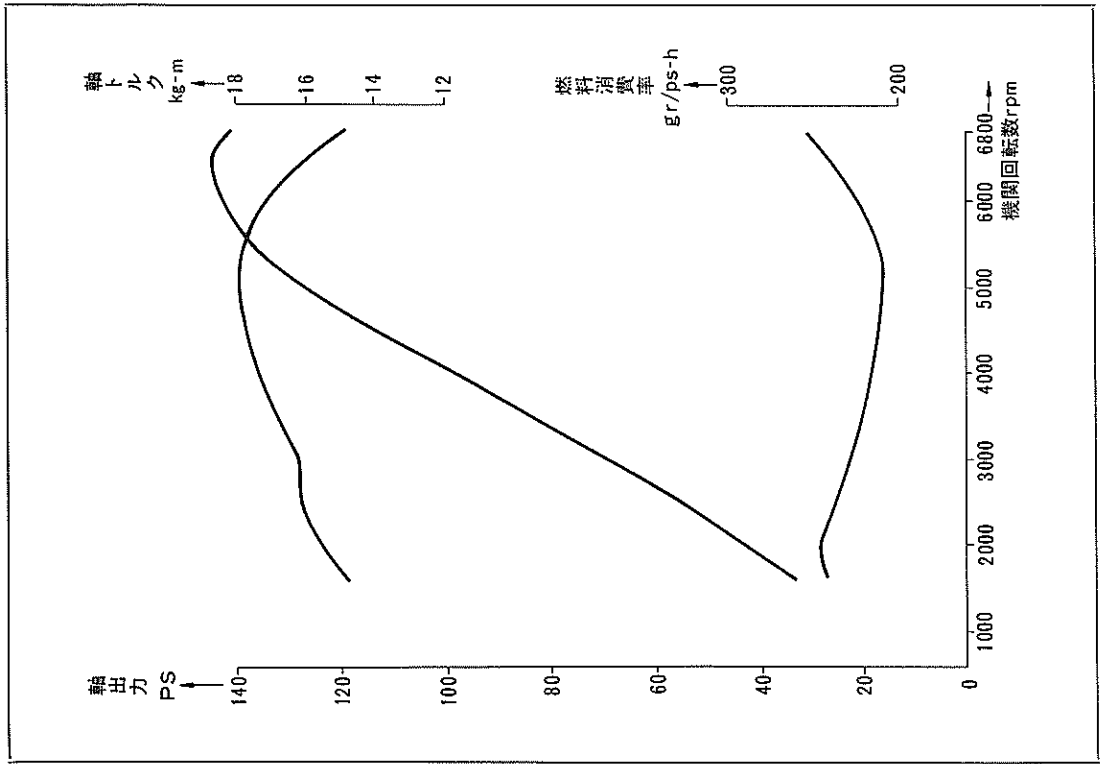
車輛4面圖



第0-2圖 ·RX22-MQG, -MQGR型車4面圖

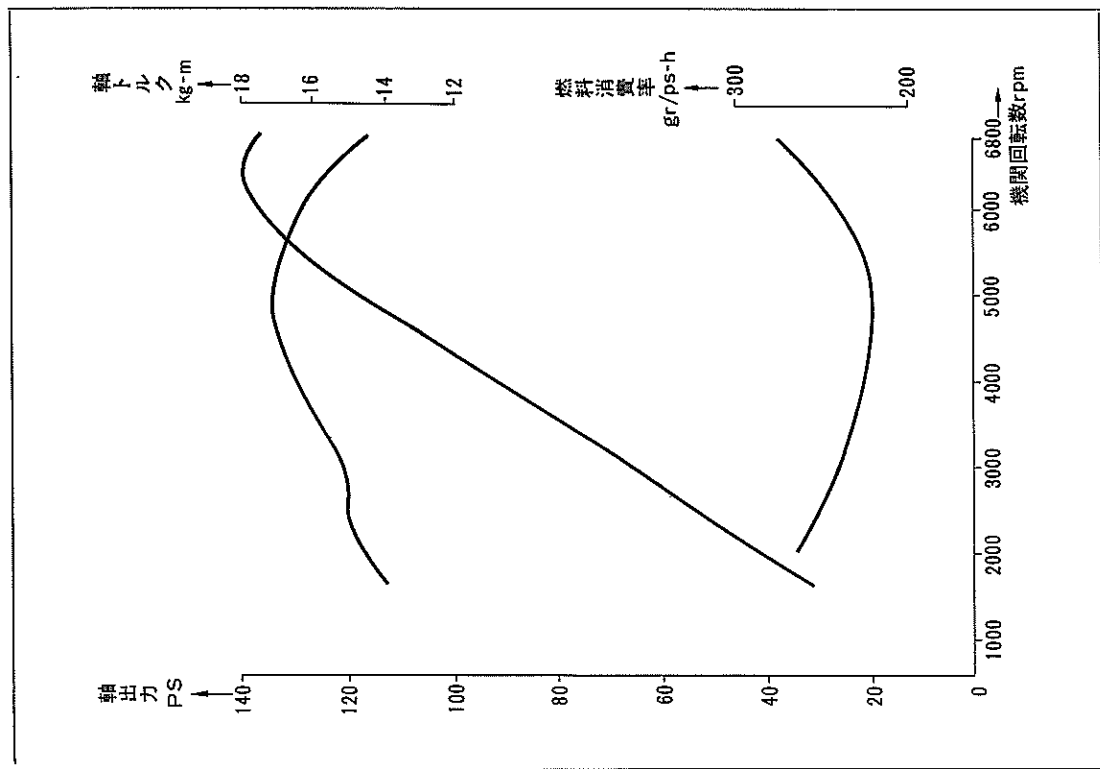
S1374

エンジン性能曲線



G9456

第0-4図 18R-G R型エンジン性能曲線



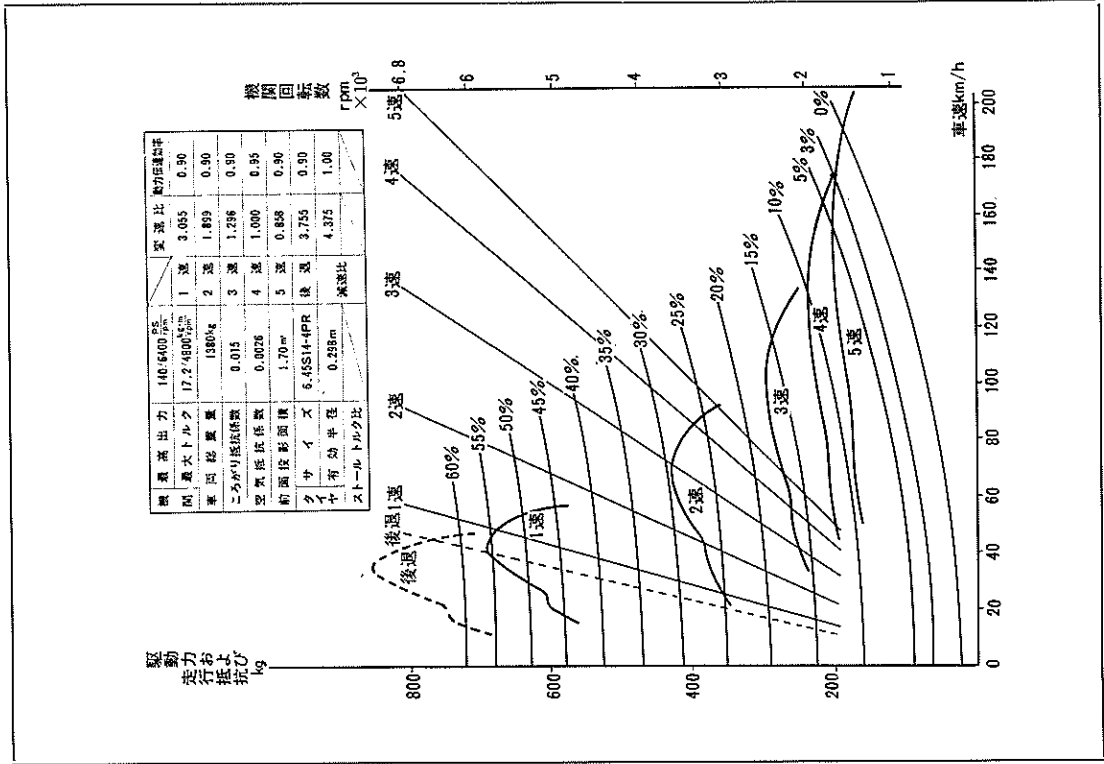
G9455

第0-3図 18R-G型エンジン性能曲線

車両走行性能曲線

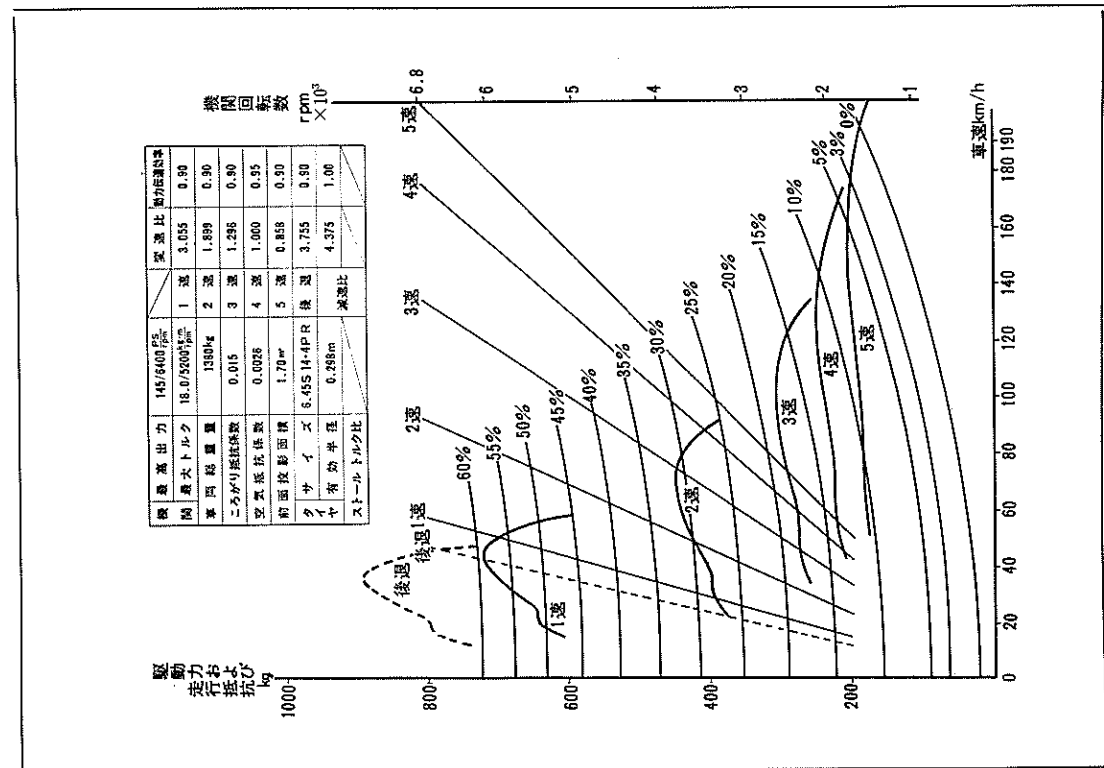
G9049

第0-6図 RX22-MQGR型車両走行性能曲線



G9048

第0-5図 RX22-MQG型車両走行性能曲線



記号の意味

本書にはトヨタ独自の次の記号が使用してありますのでその意味を示します。

記号	原語	意味
R H	Right hand (ライト ハンド)	右側
L H	Left hand (レフト ハンド)	左側
S S T	Special service tool (スペシャル サービス ツール)	特殊工具とよび、この車のサービスのために特に当社サービス部が作製した工具です。 文中では品番を〔 〕でかこんで表示してあります。
S T D	Standard (スタンダード)	標準の略で、メーカーで組み立てられたとき使用されている部品の寸法です。
R E P S T D	Repair standard (リペア スタンダード)	部品によっては1回取りはずすとはめ合い等がゆるくなり、二度と同じ寸法のものを組み付けられない場合があります。この場合 R E P S T D といつて、純正部品はメーカー組み付け用とは異なっています。
O / S	Over-size (オーバーサイズ)	長期の使用で摩耗したり、何回かの脱着によつてはめ合いがゆるくなつたものには、はめる方(たとえばピストン)を大きな寸法のものとの交換することによつて相手側は再使用できることとなります。この S T D より寸法の大きいものを O / S で表示します。
U / S	Under-size (アンダー サイズ)	O / S と同様はめられる方(ブシュ、ベアリング等)を穴の小さいものと交換することにより、相手の軸等が再使用できることとなります。この寸法(内径)の小さいものを U / S で表示します。

車両仕様

項目		型式	RX22-MQG (RX22-MQGR)
長	さ (m)		4.325
幅	(m)		1.625
高	さ (m)		1.370
乗車定員	(人)		5
原動機の型式		18R-G (18R-GR)	
総排気量	(ℓ)		1.968
燃料の種類			ガソリン
軸	距 (m)		2.585
輪	距 (m)	前輪	1.360
		後輪	1.350
車両重量	(kg)	前軸	620
		後軸	485
		計	1105
車両総重量	(kg)	前軸	720
		後軸	660
		計	1380
最大安定傾斜角	(度)	右	49
		左	49
車輪配列			前2、後2駆動
タイヤサイズ			6.45S14-4 PR または 6.45H14-4 PR 6.45-14-6 PR 165SR14 165HR14
最低地上高	(m)		0.170
寸法	ポデーオー バーハング (m)	前端	0.685
		後端	1.020
重心高	(m)		0.540
性能	最高速度 (km/h) 推定		195 [190]
	燃料消費率 (km/ℓ) 60km/h		15.0
	制動停止距離 (m) (初速50km/h)		13.5
	登坂能力 (tanθ)		0.58 [0.55]
	最小回転半径 (m)		5.0 (車体5.4)

() 内はRX22-MQGR

エンジン仕様

項目		型式	RX22-MQG (RX22-MQGR)	
原動機	エンジン型式	18R-G (18R-GR)		
	シリンダ数および配置		直4・縦置	
	燃焼室形式		半球形	
	弁機構		2頭上カム軸 チエーン駆動	
	内径×行程 (mm)		88.5×80.0	
	圧縮比		9.4 [8.5]	
	圧縮圧力 (kg/cm ² /rpm)		12.6/250[12.1/250]	
	最高出力 (PS/rpm)		145/6400[140/6400]	
	最大トルク (kg·m/rpm)		18.0/5200 (17.2/4800)	
	全負荷時最小燃費率 (gr/PS·h/rpm)		210/5200[220/4800]	
	寸法 (長さ×幅×高さ) (mm)	法		682×723×638
	整備重量 (kg)			170
	バルブ	インテーク	開(上死点前) (度)	20
			閉(下死点後) (度)	48
		エキゾースト	開(下死点前) (度)	52
閉(上死点後) (度)			16	
バルブすき間		インテーク (mm)	0.29 (冷間)	
		エキゾースト (mm)	0.34 (冷間)	
無負荷回転速度 (rpm)			800	
ブローバイガス 還元装置形式			クローズド式	
潤滑装置	潤滑方式		圧送式	
	油ポンプ形式		トロコイド式	
	油ろ過器形式		全流ろ過式・ろ紙式	
	潤滑油容量 (ℓ)		5.0	
冷却装置	冷却方式		水冷Vベルト式	
	放熱器形式		コルゲート形 (圧力式)	
	冷却水容量 (ℓ)		8.5	
	水ポンプ形式		遠心式Vベルト駆動	
サーモスタット形式		ワックス式		

エンジン仕様

項目		型式	RX22-MQG [RX22-MQGR]	
空気清浄器	型式		ろ紙式	
	数		1	
燃料タンク	材質		鋼ジンコート 0.8	
	容量 (ℓ)		60	
	燃料パイプ材質		ゴム・鋼管	
	燃料ポンプ形式		ダイヤフラム式	
燃料ろ過器形式			ろ紙式	
気化器	製作者名		三国工業	
	型式		18R-G	
	ガス弁径 (mm)		40	
	ベンチユリ径 (mm)		32	
	空気弁形式		手動式 スタータディスク式	
	空燃比		12	
電気装置	電圧 (V)		12⊖アース	
	点火装置の性能	点火時期 (BTDC/rpm)		15°/800
		遠心式 (度/rpm)		0/550 7.5/1500
			真空式 (度/mmHg)	
	点火プラグ	製作者名		日本電装 日本特殊陶業
		型式		W20EP BP-6ES
		ネジ (mm)		M14×1.25
		点火すき間 (mm)		0.8
	蓄電池	型式および数		NS40ZL, 1
		容量 (Ah)		35(20HR)
充電装置	形式		三相交流整流式	
	出力 (V-A)		12-45	
	電圧・電流調整器形式		チリル式	
	始動電動機	形式		電磁押し込み式
出力 (Kw)			0.9	
	電波雑音防止装置形式		抵抗線式	

〔 〕内はRX22-MQGR

ボデー仕様

項目		形式	RX22-MQG [RX22-MQGR]
車体さび止めの処理方式			電着塗装
乗車装置	座席ベルト	形式	前後3点式
		数	前後各2
	シートベルト	製作者名	高田ベルト
		形式	前3点式 (リトラクタ付き)
ヘッドレスト	数	前2	
	製作者名	前	{ MTP化成 三星ベルト
		形式	前シートバック 差しこみ式
	数	前2	
ガラス	前面ガラス	製作者名	旭硝子
		種類	合わせガラス
		厚さ (mm)	5
	前面ガラス以外のガラス	製作者名	旭硝子
		種類	後面強化ガラス 後面強化ガラス (熱線入り)
		厚さ (mm)	側面5, 後面4
騒音防止装置	消音器	製作者名	フタバ産業
		形式	RX22-MQG
		個数	主1, 副2
排出ガス装置	排気管の位置		後方水平車両中心より左寄り

シヤシ仕様

項目		型式	RX22-MQG [RX22-MQGR]
動力	機関から変速機までの減速比		—
	クラッチ	製作者名	アイシン精機
		形式	乾燥単板 ダイヤフラム
		操作方式	油圧式
	フエーシング	製作者名	曙ブレーキ
		寸法 (mm)	224×160×3.5
		面積 (cm ²) および枚数	193×2
		材質	セミモールド
	クラッチ油量 (ℓ)		—
	変速機	製作者名	トヨタ自動車
		形式	前進 常時かみ合い式 後進 選択摺動式
		操作方式	フロアシフト
変速比		1 速	3.055
		2 速	1.899
		3 速	1.296
	4 速	1.000	
	5 速	0.858	
後退		3.755	
推進機	長さ×外径×内径 (mm)	第1	560×65×61.8
		第2	650×65×61.8
	自在接手	型式	十字式
		数	3
減速機	歯車形式	ハイポイド	
	減速比	4.375	
差動機	外箱形式	バンジヨウ	
	歯車形式および数	すぐ歯かさ歯車大2、小2	
	差動制限装置形式	リミテッド スリッパ デフ	
走行装置	形式	ボール ジョイント式	
	トール (mm)	5 (空車)	
	キャンバ	1.30' (空車)	
	キャンスタ	35' (空車)	
	キングピン角度	7° (空車)	
	トレール (mm)	3	
後車軸形式	半浮動		
タイヤの空気圧 (kg/cm ²)		1.6	

項目		形式	RX22-MQG [RX22-MQGR]
ハン	位置	右	
	外径 (mm)	404	
	最大回転数	4.5	
	軸および継手形式	コラブシブル	
歯車	形式	ボールナット式	
	歯車比	20.0~23.5	
かじ取り角	内側 (度)	39	
	外側 (度)	32	
倍力装置	製作者名	—	
	形式	—	
	油種類	—	
	油量 (ℓ)	—	
制御装置	形式	油圧真空倍力装置付 前 ディスク 後 リーディング トレーリング	
		作動系統	2系統 前2輪 後2輪
	ライニングまたはパッドの寸法 (長さ×幅×厚さ) (mm)	前輪	76.2×51.6×10.0
		後輪	219.3×40.0×4.8
	ライニングまたはパッドの面積 (cm ²)	前輪	36×2×2
		後輪	87×2×2
	ブレーキの胴径またはディスクの有効径 (mm)	前輪	218
		後輪	228
	ライニングまたはパッド	製作者名	前住友電工 後曙ブレーキ
		材質	レジンモールド
マスタシリンダまたはブレーキ弁	製作者名	アイシン精機	
	形式	タンテム	
マスタシリンダ内径 (mm)		23.8	
ホイールシリンダの内径 (mm)	前輪	54.00	
	後輪	22.2	
制動倍力装置	製作者名	自動車機器 アイシン精機	
	形式	真空倍力式	
	倍率 (踏力kg)	3 (19)	
フレイキア	製作者名	マルヤス工業	
	材質	2重巻鋼管	

シヤシ仕様

項 目		型 式		RX22-MQG (RX22-MQGR)	
制 レ キ	主 ブ レ キ	アパ レイ キ ブ	防 腐 処 理	外面Znメッキ一部エポキシ粉体塗装およびスミチユープコーティング 内面Cuメッキ	
		ブ レ キ ホ ー ス	製 作 者 名	名古屋ゴム	
	材 質		内面ゴム層	耐油性ゴム	
			編上糸層	レーヨンまたはビニロン	
	動 キ	制 動 力 kg		328	
		(踏力kg×減速度g)		(16.8)/0.6	
		制動力制御装置形式		Pバルブ	
		制 動 警 報 装 置	形 式	灯火式	
	制動油圧 (kg/cm ²)		3		
	装 置	駐 車 ブ レ キ	製 作 者 名	トヨタ自動車	
形 式			機械式車輪制動形		
制 動 車 輪			後2輪		
ラ イ ニ ン グ		製 作 者 名	曙ブレーキ		
		寸 法 (mm)	219.3×40.0×4.8		
		面 積 (cm ²)	87×2×2		
		材 質	レジン モールド		
ブレーキの胴径(mm)		228			
制 動 力 (kg) (操作力kg)		272 (25)/0.2			
緩 衝 装 置		前 輪	懸 架 方 式	ウイツシュ ボーン式	
	バ ネ 形 式		コイル バネ		
	主バネ寸法(線径×中心径×自由長-有効巻き数)(mm)		13.8×100×360-8.15		
	補助バネ寸法(mm)		—		
後 輪	懸 架 方 式	車軸式			
	バ ネ 形 式	コイル バネ			
	主バネ寸法(線径×中心径×自由長-有効巻き数)(mm)		13.6×120×254.8-4.0		
	補助バネ寸法(mm)		—		
シ ョ ツ ク ア プ ソ ー バ 形 式	前 輪	筒形複動式			
		後 輪	筒形複動式		
	ス タ ビ ラ イ ザ 形 式	前 輪	トーション パー式		
		後 輪	—		

灯火計器明細表

項 目		明 細	
前	照 灯	37.5W+37.5W/50W 2個(4灯式) 白色	
車	幅 灯	7W	2個 橙色
番	号 灯	7.5W	2個 白色
尾	灯	8W+7W	2個 赤色
駐 車 灯	前 面	3.4W	2個 橙色
	後 面	3.4W	2個 赤色
制	動 灯	23W	2個 赤色
後	退 灯	23W	2個 白色
方 向 指 示 器	前 面	23W	2個 橙色
	後 面	23W	2個 橙色
	側 面	8W	2個 橙色
	前 面	23W	2個 橙色
非 常 点 滅 表 示 灯	後 面	23W	2個 橙色
	側 面	8W	2個 橙色
室	内 照 明 灯	10W	1個
反	射 器		2個 赤色
警	音 器	100~110ホーン	2個
非	常 信 号 用 具	発 炎 筒	1個
後 写 鏡	左 右 室 外	ガラス可とう式	
	室 内	ガラス脱落防眩式	

潤滑油容量および種類

摘 要	容 量	指 定 オ イ ル, そ の 他
エ ン ジ ン	5.0 ℓ	キャツスル モータ オイル スペシャル
トランスミッション	2.6 ℓ	キャツスル ギヤ オイル SAE90
デифアレンシャル	1.3 ℓ	キャツスル ハイポイド ギヤ オイル LSD SAE90
ステアリング・ギヤ ハウジング	0.24 ℓ	キャツスル ギヤ オイル SAE80
ホイール ベアリング	—	キャツスル MP グリース
シャシ各部グリース フィットティング部	—	キャツスル シャシ グリース スペシャル
金属とゴムのしゅう動部 (カップ類)	—	キャツスル ラバー グリース
ブ レ ー キ	—	トヨタ ブレーキ フルード グリコール 2400

作業にあたって

- 1 分解、修理または点検、調整等で、ボデー塗装面、内張りまたはシート等汚損、損傷のおそれのあるものは、フェンダカバーまたはシートカバー等でおおつてから作業を行なつてください。
- 2 エンジンその他の機構をオーバーホールする場合には、各部品を混同しないよう、整理保管してください。
- 3 分解、修理で部品を交換する場合には、必ずトヨタ純正部品を使用してください。
- 4 車両をジャッキアップして、スタンドでさえる場合、車両前部ではローアサンプションアーム、車両後部ではリヤアクスルハウジングでささえてください。
- 5 車両前部または車両後部だけジャッキアップする場合には安全性確保のため、必ず輪止めをしてください。
- 6 スペシャルサービスツール (SST) を必要とする修理には、必ずSSTを使用して適正な作業を行なつてください。
本書の第7章SST一覧表があります。

定期手入れ表

☆印は保安部品の定期交換時期を示す。

点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期								交 換 時 期 走行キロ (年)		
		新車時 点検		自家用		事業用等						
		1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3 か 月 ご と	6 か 月 ご と	12 か 月 ご と	1 か 月 ご と	3 か 月 ご と	12 か 月 ご と			ご と の 整 備
		km	km	と	と	と	と	と	と			千 km
か じ 取 り 装 置	ハンドル	遊び, ゆるみおよびガタ	○		○	○	○	○	○			
		操作具合	○		○	○	○	○	○			
	ギヤ ボックス	油漏れ	○		○	○	○	○	○			
		取り付けのゆるみ	○			○		○	○			
		軸受け部のガタ								○		
		ギヤのバックラッシュ								○		
	ナツクル	セクタ シヤフトのき裂								○		
		ロッドおよび アーム類	ゆるみ, ガタおよび損傷	○		○	○	○	○	○		
			連結部の摩耗および取り付け状態								○	
	ナツクル	ナツクル アームのき裂およびナツクルとの取り付け状態								○		
結合部のガタ						○		○	○			
かじ取り車輪	き裂								○			
	ホイール アライメント	○			○				○			
	左右の回転角度					○			○			
	ブレーキ ペダル	遊びおよび踏み込んだときの床板とのすき間	○	○	○	○	○	○	○	○		
ブレーキのきき具合, 片きき					○	○	○	○	○			
ブレーキ レバー	引きしろの余裕	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ブレーキのきき具合				○	○	○	○	○			
ラチエット部の摩耗および損傷						○			○			
	ロッドおよび ケーブル類	ゆるみ, ガタおよび損傷				○	○	○	○			
ホースおよび パイプ類	漏れ, 損傷および取り付け状態	○			○	○	○	○	○			
	ブレーキ フルード	液量	○	○	○	○	○	○	○			
交換						○				20	1	
倍力装置	機能	油密および気密								○		
		チエックバルブおよびリレーバルブの機能								○		
		ゴム部品交換									☆2	
		バキュームホース交換									☆4	
		エアクリーナの詰まり				○	○	○	○	○		
マスタシリンダおよび ホイール シリンダ	機能, 摩耗および損傷					○			○			
	カップ, バルブ, ブーツ交換									☆2		
オイルプレッ シャスイッチ	交換									☆4		
ブレーキ ホース	交換(事業用は2年)									☆4		
Pバルブ	交換									☆4		

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)				
			新車時 点検		自家用		事業用等		走 行 キ ロ の 整 備 千 km					
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3 か 月 こ と	6 か 月 こ と	12 か 月 こ と	1 か 月 こ と			3 か 月 こ と	12 か 月 こ と		
制 動 装 置	ブレーキ	ドラムとライニングとのすき間					○	○	○	○				
		シューのしゅう動部分およびライニングの摩耗						○		○	○			
	ドラムおよび ブレーキ	ドラムおよび	ドラムの摩耗および損傷					○			○			
		シュー	ディスクとパッドとのすき間					○	○	○	○			
	シュー	パッドの摩耗		○	○	○	○	○	○	○	○			
		ディスクの摩耗および損傷						○			○			
バック プレート	状態									○				
走 行 装 置	リヤ アクスル ハウジング	き裂、損傷および変形									○			
	ホイール	タイヤの空気圧						○	○	○	○	○		
		タイヤのき裂および損傷							○	○	○	○		
		タイヤのみぞの深さおよび異常摩耗							○	○	○	○		
		タイヤの金属片、石、その他の異物							○	○	○	○		
		クリップ ホルトおよびハブ ホルトのゆるみ	○						○	○	○	○		
		リム、サイドリングおよびホイール ディスクの損傷							○	○	○	○		
		フロント ホイール ベアリングのガタ							○	○		○		
		リヤ ホイール ベアリングのガタ								○		○		
		フロント ホイール ベアリング グリース交換											40	2
暖 衝 装 置	シヤシ バネ	損傷						○	○	○	○			
		左右たわみの不同							○		○			
	取り付け部 および連結部	取付部(ブラケット部を除く)のゆるみおよび損傷	○						○	○	○	○		
		連結部のガタ							○		○			
		リーフのずれ								○		○		
		ブラケットの取り付けのゆるみおよび損傷								○		○		
	サスペンション アーム およびナックル サポート	連結部のガタ	○						○	○	○	○		
		ボール ジョイントのダスト シールの損傷	○						○	○	○	○		
	ショック アブソーバ	油漏れ							○		○	○		
		損傷								○		○		
取り付け部のガタ									○		○			
動力装置	クラッチおよび トランス ミッション	クラッチの作用						○	○	○	○			
	クラッチの液量		○	○	○	○	○	○	○	○	○			

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期								交 換 時 期 (年)	
			新車時 点検		自家用		事業用等					
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3 か 月 ご と	6 か 月 ご と	12 か 月 ご と	1 か 月 ご と	3 か 月 ご と	12 か 月 ご と		走 行 キ ロ ご と の 整 備 千 km
動 力	クラッチ および トランス ミッション	クラッチ ベダルの遊びおよび切れたときの床板とのすき間	○			○	○	○	○			
		トランスミッションの油漏れ(量)	○			○	○	○	○			
		トランスミッションの操作機構のガタ				○			○			
		トランスミッション オイル交換		○						30	2	
伝 達 装 置	プロペラ シャフト	連結部のゆるみ				○	○		○	○		
		振れ				○		○	○			
		スプライン部のガタ				○			○			
		軸受け部のガタ				○			○			
		センタ ベアリングのガタ				○			○			
置	デイフアレン シヤル	油漏れ(量)	○			○	○	○	○			
		オイル交換								30	2	
	ドライブ シヤフト (リヤアクスル シヤフト)	ねじれおよびき裂							○			
電 気 装 置	点火装置	デイストリビュータのキャップの状態				○	○	○	○	○		
		断続器の状態				○	○	○	○	○		
		点火プラグの状態	○			○	○	○	○			
		点火プラグ交換				○		○	○			
		点火時期	○			○	○	○	○	○		
		進角装置の機能				○	○	○	○			
		レジスタイブ コードの抵抗(自家用は2年ごとに点検)							○	○		
	始動装置	ピニオンのかみ具合				○		○	○			
	充電装置	充電作用				○	○	○	○	○		
	バツテリ	液量	○	○	○	○	○	○	○			
比重					○		○	○				
電気配線	接続部のゆるみおよび損傷				○	○	○	○				
原 動 機	本 体	かかり具合および異音				○	○	○	○			
		低速および加速の状態	○			○	○	○	○			
		排気の状態	○			○	○	○	○			
		エア クリーナ エレメントの状態		○	○	○	○	○	○			
		エア クリーナ エレメント交換				○		○	○			
		圧縮圧力				○			○			
		弁すき間	○			○	○	○	○			

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)			
			新車時 点検		自家用		事業用等				走 行 キ ロ 千 km		
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3 か 月 ご と	6 か 月 ご と	12 か 月 ご と	1 か 月 ご と	3 か 月 ご と			12 か 月 ご と	
													ごとの整備
原	本 体	チエーン テンショナ No.2	○			○	○		○	○			
		バルブ タイミング	○			○	○		○	○			
		シリンダ、ヘッドおよびマニホールド各部締め付け	○								○		
	ブローバイ ガス 還元装置	メーターリング バルブの状態					○		○	○			
		PCVバルブ交換〔()内は事業用〕									○		4(1)
		配管の詰まりおよび損傷						○		○	○		
	潤滑装置	油漏れ	○			○	○	○	○	○			
		エンジン オイルの汚れおよび量				○	○	○	○	○			
		オイル クリーナの詰まり						○		○	○		
		オイル フィルタ交換	○			○	○	○	○	○		10	
		エンジン オイル交換(事業用は5000kmごと)	○	○	○	○	○					5	
	動	燃料装置	燃料漏れ	○			○	○	○	○	○		
キャブレタ各部の汚れ			○			○	○	○	○	○			
キャブレタのリンク機構の状態			○			○	○	○	○	○			
キャブレタのスロットル バルブおよびチョーク バルブの状態			○			○	○	○	○	○			
キャブレタのフロート レベルの状態			○			○	○	○	○	○			
キャブレタの調整の状態			○			○	○	○	○	○			
燃料供給ポンプの機能											○		
フューエル ホース損傷			○			○	○			○	○		
フューエル ホース交換(事業用は2年)													☆4
燃料フィルタの詰まり							○			○	○		
燃料フィルタの交換													2
キャブレタ ダンパ オイルの量(交換)						○	○			○	○		2
機	冷却装置	水漏れ, 量(交換)	○			○	○	○	○	○		2	
		ラジエータ キャップの機能				○	○	○	○	○			
		ラジエータ ホース交換(事業用は2年)										4	
		ベルトのゆるみおよび損傷	○			○	○	○	○	○			
灯 火 計 器 等	警音機, 方向 指示器, 窓ふ き器, 灯火装置	作用				○	○	○	○	○			
	後写鏡	写影の状態				○	○	○	○	○			

点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期							交 換 時 期 (年)			
			新車時 点検		自家用			事業用等			走 行 キ ロ の 整 備 千 km		
			1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	3	6	12	1	3			12	
					か	か	か	か	か			か	か
計 器	作用												
車 台 ・ 車 体 ・ そ の 他	エキゾースト パイプおよび マフラ	取り付けのゆるみおよび損傷				○	○	○	○	○			
		機能						○	○	○			
	車わくおよび 車 体		ゆるみおよび損傷	○				○		○	○		
			ドア ロックの機能				○	○	○	○	○		
			シヤシ各部の給油脂状態				○	○	○	○	○		
			座席ベルトの損傷および取り付け状態				○	○	○	○	○		
			頭部後傾抑止装置の状態				○	○	○	○	○		
			グリース アップ									40	2
			ヒータ ホース交換										4
			フューエル タンク フリーザ チューブのチェック バルブ交換										2
	フューエル タンク キヤツプ ガasket交換										2		